

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	(水道)水道メーター検針委託事業	会計名称	水道特別		担当課	水道課	
		予算科目	1 款 1 項 4 目	事業番号	9910	所属長名	野島康博
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	田村政幸	
法令根拠等	公営企業法33条2				実施期間	【開始】	平成 18 年度
総合計画での位置付け	快適空間都市の創造 潤いのある水環境づくり					【終了】	平成 年度(予定) <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	水道事業の経営を行う上で欠かせない水道料金を算定する元となる業務						
事業の対象	検針業務検針委託者			事業の目的	水道料金の計算のため、偶数月に適切な水道メーターの検針を行い、使用水量及び料金を把握するとともに、使用者に通知する。		
事業の内容 (整備内容)	検針業務は、管工事組合に委託しておりハンディ端末機により使用水量及び料金を設定し、使用者に通知するとともにメーター故障、宅内漏水等による水量の異常を早期発見でき、迅速な対応が図れる。			昨年度の課題に対する具体的な改善策	誤検針により水道使用者へ御迷惑をおかけしないことを第一義としつつ、委託業者(検針員)への適切な指導とフォローのため、毎回の検針時に注意点を記載した連絡票を送付する。		

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	29 年度実績	30 年度予定	9月末の実績	30 年度実績
直接事業費	5,525	5,893	0	0	0	5,823	検針委託総件数	件	74958	79560	39310	78874
財源内訳												
国庫支出金		0	0	0	0	0	誤検針数	件	12	0	2	7
県支出金		0	0	0	0	0						
地方債		0	0	0	0	0						
その他		0	0	0	0	0						
一般財源	5,525	5,893	0	0	0	5,823						
職員の人工(にんく)数	0.58	0.18				0.18						
1人工当たりの人件費単価	8,017	7,982				7,982			0			
※ 直接事業費+人件費	10,175	7,330				7,260						
主な実施主体	伊予地域は伊予市管工事業協同組合へ委託。双海地域は個人へ委託。		実施形態(補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)		委託料							
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					31 年度	32 年度	33 年度	34 年度	35 年度	5年間の合計		
					5,893	5,900	5,900	5,900	5,900	29,493		
成果指標	指標	誤検針と判明した件数÷検針委託総件数=誤検針率	単位	⇒	区分年度	29 年度	30 年度	31 年度	目標 毎 年度			
			%		目標	0	0	0				
	指標設定の考え方	適正な水道料金を算定するため、正確な検針業務に努める。	実績		0.016	0.009						
	指標で表せない効果											

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		漏水未発見や誤検針を未然に防ぐ上で、検針員の能力や判断の仕方にバラつきが見られる。業務標準化を図る上で、マニュアルなどの見直しや、委託先による研修などの機会を設ける必要がある。										
事務事業の評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	5	合計点が	S	事業成果・工夫した点	できるだけ委託先での対応による、漏水発見・対応や誤検針防止策の徹底が図られるよう、簡易なマニュアルを作成し、委託事業者に提供した。			
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に対応しておらず、見直しが必要である。	5					14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D		
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 今のところ市の関与・実施は妥当と判断できる。	4							
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	4	合計点が	A					
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	5					14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D		
			施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進への貢献は多量である。	4							
	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	4	合計点が	A	事業の苦勞した点・課題	検針員は他の仕事などと並行して検針を行っているため、一同に会しての研修の機会は持ちにくく、検針の「質」の向上を図ることが容易でない。				
		コスト効率	5 4 3 2 1 活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。	4					14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D			
		市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認める。	4								
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	5	合計点が			S	事業の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 事業継続と判断する。</li> <li><input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する</li> <li><input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する</li> </ul> (判断の理由) 水道料金の算定の根幹となる水道メーターの検針業務であるため、事業継続と判断する。	
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に対応しておらず、見直しが必要である。	5							14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 今のところ市の関与・実施は妥当と判断できる。	4							
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	4	合計点が	A						
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	5			14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D					
		施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進への貢献は多量である。	4								
効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	4	合計点が	A	事業の所属長の課題認識	新電算システムのハンディターミナル端末機による検針業務を迅速かつ正確に実施することで、事務の効率化や水道利用者に対して、正確に使用水量・料金の通知が行えているが、近年の住民ニーズは多様化しており、検針日の固定化等更なるサービス提供に努める必要がある。また、ハンディターミナル未導入地区への早期導入を図る必要がある。					
	コスト効率	5 4 3 2 1 活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。	4					14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D				
	市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認める。	4									

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容
<div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>		

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断議	事業の方向性	コメント欄	
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	<div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input type="checkbox"/>	右記の点を見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を行う。	
<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を行う。		